

# 令和5年度 第2回教務主任研究部研修会

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、リモート開催でしたが、今年度は2年ぶりに浜松市内小中学校の主幹教諭・教務主任が集まり、充実した夏季の研修会を行うことができました。また、日頃考えていることなど情報を交換する機会にもなり、2学期に向けて貴重な示唆を得ることができました。

【日 時】 令和5年8月3日（木） 9：00～12：00

【場 所】 みをつくし文化センター

【内 容】

## 1 講話

演題 「チームづくり」

講師 ナガオ考務店 代表取締役 長尾 彰(ながお あきら) 氏



講演では、学校がチームとして最大限に機能するために必要なことを、分かりやすく教えていただきました。「グループ（集団）」は、ストーミング（混沌期）を超えると「チーム」として成長するため、学校も様々な試行錯誤を乗り越えることで、それぞれの強みを活かした役割分担ができるようになるそうです。そのためには、一人一人が自分の考えが言い合える状態（心理的安全性があること）が重要とのことでした。所属する学校のさらなる結束に向けて、教務として何ができるか模索しながら講演をお聞きしました。

## 2 研修

テーマ「これからの教員の人材確保について」

講師 浜松市教育委員会教職員課主幹 矢作 実（やはぎ みのる）氏



研修では、適正な教員配置のために児童生徒数の正確な把握や、適切に学級編制を進めることの重要性について学びました。児童生徒数が「1」変わることで、学級数が「1」変わり、学校に配置される教職員数も「1」変わることもあるため、教務として細心の注意をもって学級編制表を作成するよう自覚を深めました。

主幹教諭・教務主任としての力量を高めるために、大変有意義な研修会となりました。今後もさらに工夫して教育課程を推進していきたいと思えます。

研修会を開催するにあたり講師の先生方をはじめ、顧問校長の伎倍小学校 中村信也校長先生、浜北北部中学校 影山ちか校長先生におかれましては、御指導くださり誠にありがとうございました。

部長 内野小 齋藤隆治 ・ 副部長 浜名中 黒柳幸夫